

30 車両

【関連章第7章13】

事例 「走行中のトラックの荷台から出火した火災」

出火時分 4月 19時ごろ
用途等 普通貨物車
被害状況 車両ばや 車両若干焼損
概要

この火災は、高速道路を走行中にトラックの荷台から出火したものです。

出火原因は、排気管内に溜まった煤が高温の排気ガスにより発火し火の粉となり、排気管出口や排気管の破損部分から飛散し、荷台の床板に着火し出火したものです。

運転手は、高速道路を走行中、並走してきた別の車の運転手からトラックが燃えていると知らせを受けたため、路肩に車両を停車させ確認すると、荷台下部が燃えていたことから、近くに設置されていた非常電話で通報しました。その後、運転手は着衣を脱ぎ、炎が出ていた荷台の床板を叩き消そうとしましたが消火できませんでした。

教訓等

出火した車両は、平成2年式の貨物車で、車検は平成12年に切れており、メーカーによる修理履歴は平成19年が最後でした。

車両は、中古車販売業者がオークションにて落札したもので、海外に輸出するため、仮ナンバーの交付を受け、高速道路を走行中でした。

今回出火した車両は、20年以上車検を受けておらず、そのような車両でも、仮ナンバーにより一時的に公道を走行することから、乗車前には目視で車両点検を実施するとともに、過去の整備点検状況について必ず確認する必要があります。



写真 30-1 荷台下部の焼損状況

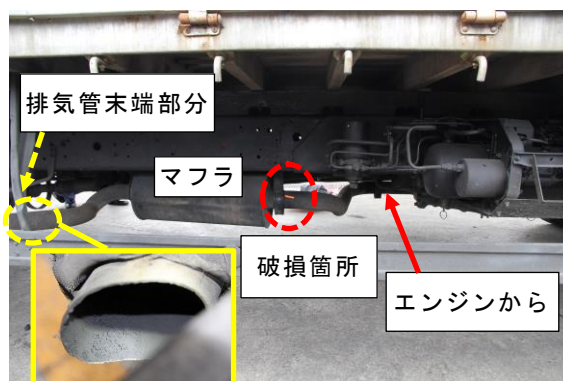


写真 30-2 排気管の状況

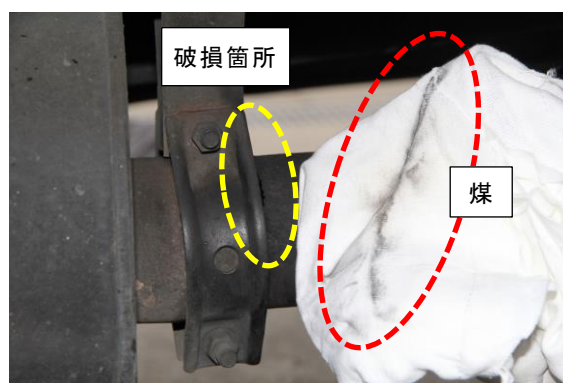


写真 30-3 破損箇所からの煤の噴出状況